

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	教育センター所長 相田 良一	
教育-39 教育情報事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育センター
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	教育内容・教育環境の充実

1 事業の目的

対象	市立小・中学校の児童・生徒等
意図	郷土学習の補助として、小・中学校の理科、社会科学習の副読本を発行して郷土の理解を図るため。
効果	児童生徒が、鎌倉についての郷土愛を育むことを図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

市内小・中学校の郷土学習の資料として、副読本を作成し配布した。「かまくら子ども風土記」を発行(販売)し、情報の提供を行った。教育情報の収集・提供を行った。
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	2,066	決算値(千円)	1,579	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	858	その他	545	
	一般財源	1,208	一般財源	1,034	
事業経費運営	人員配置数	1.0	人員配置数	1.0	
	人件費(千円)	7,809	人件費(千円)	7,575	
	総事業費(千円)	9,875	総事業費(千円)	9,154	
	市民1人当りの経費(円)	56	市民1人当りの経費(円)	52	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	各学校が情報を収集しやすいシステムの構築及び各資料のデータベース化を図る。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	センター発行の刊行物等のホームページへの掲載や教育情報のDVD化による各学校への情報提供の充実を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	各種資料の収集や情報提供の推進を図るとともに、その成果について多くの学校に還元できるよう資料の整理と情報提供を図る。各刊行物改訂に向けた資料及び情報収集を図る。	
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
事業内容の方向性		事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
総評	各学校が活用しやすい情報提供の仕方や資料の整理の仕方について工夫改善を行い、本事業の成果を各学校で活用できるようなシステムの構築を図る。各刊行物のよりよい改訂のため、それに関連する多方面からの情報収集を図る。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	教育情報の収集・提供の充実に関する満足度						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
各学校における喫緊の課題解決のための教育情報の収集・提供の質を高めていけるようにする。	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%				
	実績値	50%									
	達成率	50.0%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	教育情報収集・提供の充実に関する数値的な指標設定は難しく、各学校からのニーズを把握しながら学校の満足度を、センターとしての自己評価から推測して確認して行く。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---